第１学年通信

和-Nagomi-

（なごみ）

第 10 号：令和元年９月２７日(木)発行

９月 17 日（火）に，総合Ｇの活動で，各クラスで室積の海と山と町を探索しました。これは，室積の自然や産業について知見を深め，地域に愛着を持つことを目的とした活動です。次回の総合Ｇでは，今回とは別の場所で活動を行います。以下に，生徒の感想を紹介します。

今海にごみがたくさんあって大変なことになっている中，今日私が見た限りでは海にごみが全然なく，きれいでした。そういう海は少ないと思うので，すごいなぁと思いました。海の色もとってもきれいで移動している途中，海の表面に虹が映っていて，みんなで〝すごい！〟，〝きれい〟と話していたので，海も虹が映るくらいきれいなんだなと思いました。海には，かにやえびなどたくさんの生き物もいました。

今日は，総合Ｇで町に行きました。思ったよりも場所が分からなかったので，ビックリしました。けど，班行動ができたのでよかったです。次の総合Ｇもがんばりたいです。

普段の生活では，聞こえてこない音（葉がこすれる音，色んな虫の声など）や見られないもの（木漏れ日，葉のかがやきなどがたくさんあって，自然の「美しさ」を見つけることができました。

今日は，総合Ｇで町に行きました。思ったよりも場所が分からなかったので，ビックリしました。けど，班行動ができたのでよかったです。次の総合Ｇもがんばりたいです。

今日は総合Ｇで町に来ました。室積の歴史，昔の建築物をしっかり見て書いて学ぶことができました。そして，班長はとっても大変だということが分かりました…。言うことを聞いてくれなかったり列が乱れたり…。そう考えると，先生はもっともっと大変なのですね。なので，これからは話をしっかり聞き素早く行動したいと思います！

象鼻ヶ岬の海の魅力は，海の中の生物がたくさん見つけることができる所や，大きな岩があるので，そこでねたりすると気持ちがいい所です。また，高い所から見る海の景色は最高で，肌にあたる風はつめたくて，とても幸せを感じることができる所だった。また，きれいな石や貝がたくさんあり，探すことがとても楽しかった。

普段感じないような自然の中で，気持ちよさを感じることができました。また，人が手入れしているところがありましたが，どれもしばらく放置しているという様子だったので，いつ人が手を加えたかが気になりました。

今日は総合Ｇで町を探検しました。班長として，途中で給水などをしっかりとるように指示できました。ですが，まだ課題点もあるので，次にしっかり頑張りたいです。

【勉強のすすめ】

附中祭が終わり，通常の授業が始まり，教育実習もはじまりました。学校の勉強モードに切り替わってきていることと思います。みたらいノートを見ると，通常の学習から変えていこうと意識している人も多く見受けられます。テスト週間に入ってからの勉強ももちろんですが，テスト週間以外での勉強についても質を高めていくことが必要だと感じているのだと思います。日ごろの勉強は，テスト週間のときと比べて，時間が少ないのでないでしょうか。その少ない時間で，学びを充実させることが大切です。ところで，「量質転化」という言葉を聞いたことがありますか。意味は，「取り組みの量を増やしていくと，一定の量を超えたときに，質の向上が大きくなる。」です。つまり，勉強において，継続的に続けて量をこなすことで，質が高くなっていくということです。

日常的に，コツコツと続ける人，継続的に試行錯誤するひとが，勉強の質を高めることができ，成果を残すことができます。本気を出し始めたばかりの人はまだ成果が実感できないかも知れませんが，未来に期待して粘り強く続けていってほしいと思います。がんばってください。

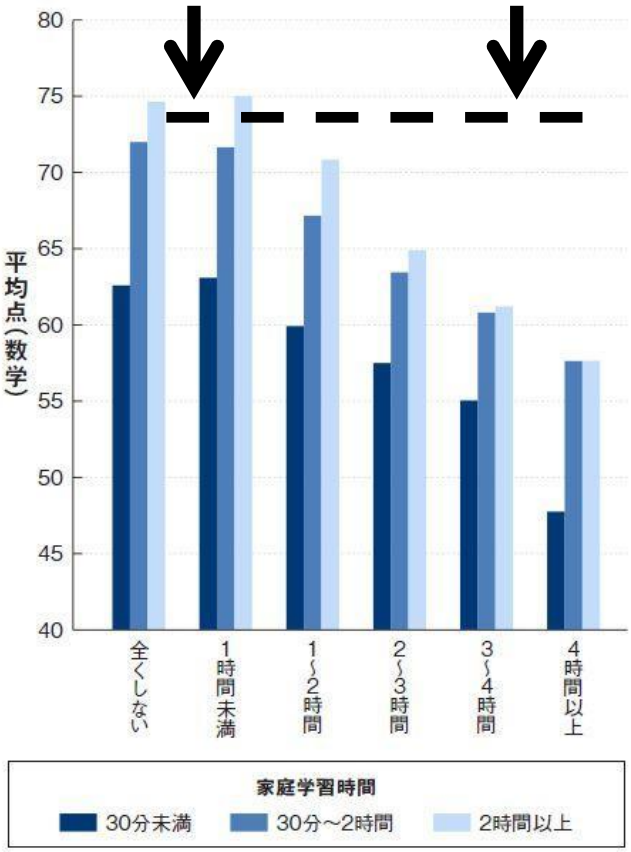
【情報機器利用について】

家庭での勉強を充実させるためには，情報機器の適切な利用が不可欠です。情報機器には人々を幸福にするはたらきがある一方で，人々に損をさせる場面もあります。どのような損があるかというと，「使いすぎると学力が下がる」ということです。たとえ家で２時間以上勉強したとしても、携帯・スマホを３時間以上使ってしまうと、ほとんど家で勉強をしないけれども携帯・スマホを使わない生徒たちの方が、成績が良くなってしまいます。２ 時間以上も勉強をしても，その努力が全部無駄になってしまっているかのようです。このようにならないために，適度な利用を心掛けるようにしてほしいです。

また，保護者の人と協力しながら，安心・安全・適切な使用を意識していきましょう。

さらに，加害者となるケースとして，誹謗中傷を行った場合には罪に問われることがあります。言葉の使い方に気をつけるとともに，気になることがあれば相手に聞いて真意を確認しましょう。

グラフ1-1　平日の携帯・スマホ使用時間（平成25年度）



出典：https://president.jp/articles/-/24764